

認知症カフェ（いこらカフェ）

活動 紹介

令和6年8月より、葛城ステーション北花内で月2回（第1.3週木曜日13:30～15:30）で、いこらカフェ（認知症カフェ）を運営しています。

いこらカフェは、もの忘れがあっても、工夫していること、苦労していることなど気軽に話せる場所です。専門職が認知症をテーマにお話をすることもあり、交流し、相互に情報を共有して理解し合う場所です。

担当者

鴻池荘 サテライト蜻蛉
（前田・笠松・福岡）

どんなことをしているの？

コーヒーやお菓子を囲みながら、交流を中心に自分自身のことや地域での認知症の方への対応の話などしています。

カフェの用意も参加者が率先して行っています。



参加者の声

「ここに来て、人と話すようになった」
「カフェの日があるから、朝から用意する習慣ができた」

参加者へのインタビューはこちら
（医）鴻池会 You Tube

<https://youtu.be/KpRkoJ1BQ14> ⇒

